

患者・利用者の

「主体性の再構築」を デザインする！！

第7回 多職種連携祭
Medical
Joint
Festival
↑R S W

～意思決定支援のアプローチを多職種で考える！～

日時：平成30年4月21日(土) 12:50～18:00 (受付開始12:00)

場所：横浜開港記念会館 講堂 (当日問い合わせ ☎ 070-6577-4953)

定員：450名 [先着順・事前申込み必要]・申込み方法は裏面をご参照ください

参加費：3,000円

主催：神奈川県回復期リハビリテーションソーシャルワーク(KRSW)研究会

後援：横浜市／一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会／公益社団法人神奈川県理学療法士会／
一般社団法人神奈川県作業療法士会／神奈川県言語聴覚士会／神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会

協力：一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 / 一般社団法人 東京都医療社会事業協会

お子様同席OK!
フリースペースあり

招待講演 私たちは「パーフェクトワールド」に なぜ魅かれるのか?

12:55-14:30

有賀リエ氏 漫画家 & 阿部一雄氏 モデル取材協力



再会した初恋の人は車椅子利用者だった。脊髄損傷を負った男性との恋愛を描く漫画。脊髄損傷者の直面する問題や、キャラクターの葛藤をリアルに描き、今大きな反響を呼んでいる。発行部数100万部(電子含)突破の人気。

阿部一雄氏 (あべかずお) オートバイレースでの事故で脊髄損傷となるも逆境を乗り越え、車いすの1級建築士として、健常者と障がい者を経験した独自の視点から、バリアフリーノウハウを住宅に反映。阿部建築株式会社 代表取締役社長

有賀リエ氏 (あるがりえ) 日本の漫画家。長野県出身。2011年、第6回 KissINにおいて『天体観測』でKiss ゴールド賞を受賞。2014年から連載を開始した『パーフェクトワールド』は、フランスの雑誌『Animeland』において2016年ベスト少女漫画賞を受賞し、2018年には、監督：柴山健次、主演：岩田剛典 (EXILE/三代目 J Soul Brothers、映画「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」など出演)、杉咲花 (NHK 朝ドラ「とと姉ちゃん」、映画「無限の住人」、「メアリと魔女の花」など出演)、W主演で実写映画化。

基調講演 14:45-15:45 主体性をひきだす支援とは!?

～急性期・回復期のソーシャルワーカーへ、セラピストへ、看護師へ、介護士へ
そして、生活期支援者へ! 生活期で花を咲かせて貰うために急性期・回復期リハは何をすべきか?～

長谷川 幹氏 リハビリ医 三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長



長谷川幹氏 (はせがわみき) 1974年、東京医科大学医学部卒業。日産厚生会玉川病院勤務ののち、桜新町リハビリテーションクリニック院長を経て、2011年より三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長に就任。外来診療と訪問リハビリテーションをしながら在宅の障がい者、高齢者がその人らしい生活を主体的に計画し実現する「地域ケア」に取り組んでいる。日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会理事長、主な著作：『リハビリ医の妻が脳卒中になった時』、『主体性をひきだすリハビリテーション』ほか。

石川誠氏の“専門性を追求する生討論”

16:00-17:55

ファシリテーター石川 誠氏

いまなぜ「意思決定支援」? 支援者の在り方を考える!

斉藤秀之氏 (理学療法士: 日本理学療法士協会副会長・茨城県理学療法士会会長)

淵 雅子氏 (作業療法士: 九州栄養福祉大学教授・元誠愛リハビリ病院副院長)

森田秋子氏 (言語聴覚士: 鶴岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部部长)

一宮禎美氏 (看護師: NTT 東日本伊豆病院 副看護部長 脳卒中リハビリ認定看護師)

取出涼子氏 (医療ソーシャルワーカー: 医療法人社団輝生会 教育研修局部長 (SWCM 担当))

長谷川幹氏 (リハビリ医 日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会・理事長ほか)



いしかわまこと(リハビリ専門医。初台リハビリテーション病院創設者、長崎彦雄 ジャイアンツ終身監督の主治医、平成20年船橋市立リハビリテーション病院を運営。医療法人社団輝生会理事長、回復期リハビリ病棟全面相談役、日本リハビリテーション医学会特任理事、日本リハビリテーション病院・施設協会顧問、テレビ番組「カンパリア宮殿」に出演、話題となりました。今回の内容が大きなテーマであることから、自ら構成を担当され、急性期・回復期・生活期リハビリへお伝えします。

*パネリスト紹介 議論のキーワードは裏面に詳細あり

パネリストの紹介

～討論の議題予想（只今、石川誠氏がシナリオを構成中） ■意思決定支援を行うためのアプローチ

- セラピストが患者から引き出す方法・コーチングとは？
- 認知機能の低下した患者・利用者への支援、効果・評価など
- 専門技術が発揮できているか？
- パネリストの取り組み
- エンパワメント（ストレングス、ナラティブ）
- 多機関多職種連携等

斉藤秀之氏(理学療法士)

当事者の皆さんが、何を求め、何がしたいか、そうしたことを表現してもらい、支援者としてはその可能性を否定せず決めつけずに、諦めずに実現する手段を検討し、様々な方法でその人らしい生き方ができるように支援することを心がけています。

瀧 雅子氏(作業療法士)

「意思決定」は個々が長い年月かけて構築してきたもの。それが突然のアクシデントにより心身ともに大きくダメージを受ける。それでも立ち上がっていく中、「意思決定」はスモールステップを踏み再構築しようとする。実は支援のチャンスは身近にある。患者さんのサインを見逃すことないサポートができるか。

森田秋子氏(言語聴覚士)

どのくらいの認知機能があれば自分で意思決定できるのか、全部自分で決められなくてもある範囲であればその方の意思を反映することができるのではないかと、少しでもその人らしい人生に近づくために…。認知関連行動アセスメント(CBA)は、そんな気持ちを込めて作成しました。

一宮禎美氏(看護師)

当事者である患者さんが置き去りとなり、家族と医療者による意思決定がされていることが少なくないと感じています。認知機能低下と一括りにせず、理解できる方法で説明し、意思表出ができる信頼関係を築けるように「支援する側の能力」を高めることが重要だと思います。

取出涼子氏(医療ソーシャルワーカー)

自分に正直に在ること、自分のことは自分で決めることが後悔なく生きることにつながる、と感じてきました。生きていく現代の限界の中で、自分の気持ちに正直に向き合っている人を見ると、心が揺さぶられます。それが私のソーシャルワーカーとしての原点です。

長谷川 幹氏(リハビリ医)

障害があるから何もできないと思っている障害者が興味・関心のあることを実現すると、少しずつ自信がつく。これを繰り返すと「主体性」が再構築される。さらに、障害者が支援の「受け手」でありながら「支え手」に回り、医療者との協働の可能性がある。

2018.4.21(土) ～第7回多職種リハビリ勉強会～ 参加申し込み

お申し込みはQRコード、メール (krs wreha@yahoo.co.jp)、またはFAX (<https://krs wreha.jimdo.com> 詳細はホームページにてご覧下さい)

申し込み受付



<FAX送付票> **FAX番号 0467-33-1879**

事務局：鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 地域連携事業部 宛

所属機関名：			
氏名／職種 []		氏名／職種 []	
氏名／職種 []		TEL	
氏名／職種 []		FAX	
氏名／職種 []		代表メール	

お問合せ：半沢英明(医療ソーシャルワーカー) 田中宇徳(理学療法士)

お願い：席の確保などの都合上、キャンセルの際は必ずTELまたはメールにてご連絡ください。



お問合せ：聖テレジア病院 地域連携事業部

☎ 0467-32-4125 (代表番号)

会場：横浜開港記念会館 アクセス

- ◆ みなとみらい線 日本大通り駅 はず向かい (みなとみらい線 横浜～日本大通り約6分)
- ◆ JR 関内駅 徒歩15分
- ◆ 地下鉄関内駅 徒歩10分

* 会館には駐車場はございません。

一神奈川県回復期リハビリテーションソーシャルワーク(KRSW)研究会一

- 済生会神奈川県病院/西横浜国際総合病院/新横浜リハビリテーション病院/横浜なみきりリハビリテーション病院/新戸塚病院/朝倉病院/さがみリハビリテーション病院/横浜旭中央総合病院/汐田総合病院/鶴巻温泉病院/川崎協同病院/昭和大学藤が丘リハビリテーション病院/東海大学大磯病院/湘南鎌倉総合病院/横須賀共済病院/横浜栄共済病院/秦野赤十字病院/川崎市中部リハビリテーションセンター/井田障がい者支援センター在宅支援室/横浜市立脳卒中・神経春椎センター/鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院

[SV] 成田すみれ(SW) 金子秀子(SW) 【顧問】伊藤利之(リハビリ専門医)